

## 東日本大震災で温かいご支援をお寄せ戴いた皆様へのお礼

2012年元旦の大船渡は穏やかな初日の出でございました。大船渡にご縁のある皆さまにおかれましては、お健やかに新年を迎えられて益々ご清栄のことと、お慶び申し上げます。遅ればせながら、新春のご挨拶と温かいご支援に心からお礼を申し上げます。復興元年と心は踊りつつも、ここ大船渡では、寒冷地の沿岸特有の強風の日々や、珍しく雪もちらほらいたします。

東日本大震災では、いち早くご厚情溢れる多大なご支援を賜りながら、皆さまへのお手紙がこの時期になり、深くお詫び申し上げます。被災者の大船渡の仲間たちは、一時は未来を見失いそうになりながらも、お互いに助け合おう！と3月28日に大船渡サポートネットワークを設立。今日まで大船渡をサポートする活動が出来たのも、皆さまのご支援のお陰です。将来へ希望を信じつつも、あまりにも被害が甚大な故に、未だに多くの不安を抱えておりますが、皆さまのご厚情が多くの被災者の方々に喜ばれていると確信しております。

実は、遡ること3月の震災以降、全国からお米、ペットボトル等の飲料水、嗜好食品、衣類、オシメ、スポーツ用品、ランドセルや靴等の学用品、生活用品や書籍、輸送・運搬用の軽自動車等、たくさんのご協力いただきました。しかも、公共施設・福祉の里のご協力の元、支援物資の安全で無事な管理も可能となりました。

又、5月以降のサポート活動はハード支援からソフト支援にも徐々に移行しつつ、遠隔地の高齢者や母子家庭への支援物資のお届けから、海外ボランティア受入れや現地での世話、河川敷の草取り、スポーツイベント、子供から大人まで、家族全員で楽しんだお祭り、アート・イベントやゲーム・イベント、小・中学校の運動会、テーブルサッカー、山登りイベント、リアスホールでのウォーキング教室や大船渡の保育園児童たちの自主参加による絵画作成のワーク

## 大船渡サポートネットワークセンター (OSN・C)

〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字丸森 56-1

ショップなど、被災者の心のケアの必要が叫ばれる中、人々みんなの笑顔で輝いている暖かい交流の場を提供する支援団体、個人ボランティアの皆さんへのサポートが出来るようになりました。

東日本大震災から早くも10ヶ月以上の月日が流れ、大船渡の被災市民たちは各地で余儀なくされた避難所生活から仮設住宅で自立と復興に向けて歩み創めています。ご支援いただいた皆さまのお陰で、大船渡サポートネットワークでは各仮設住宅の高齢者の方々にコタツ、毛布、冬用の防寒具など心温まる提供物資をお届けするお手伝いが出来ました。また、日米婦人会仲間の皆さんは、ご自分達で編んだマフラーや帽子をわざわざロサンゼルスからお届け下さいました。その時期には、冬対策として市役所等の指導の元、仮設住宅に必要なインフラ整備等が急ピッチで行われておりました。皆さん、ありがとうございます。

私共も、大船渡をはじめとする東日本の復興に対しこれからも支援活動を続けていく所存であり、皆さまにも末長く見守っていただきながら、今後も継続的にお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

これから東北は一段と寒い時期を迎えますが、東北の湘南といわれる大船渡にもお立ち寄りいただき、協働で日本の復興に向けて語り合いましょう。一筆、ご報告とお礼を申し上げます

敬具

平成24年2月吉日

大船渡サポートネットワークセンター (OSNC)



代表 鵜浦 真紗子と大船渡の仲間たち

<http://ofunato.org/>

e-mail:unoura@titta.com